

# 安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

## ★ 今月の事故 ★



### 1. 事故の概要（就業中）

今月は、清掃作業（就業中及び後片付け）における階段からの転落事故が3件ありました。「重篤事故」1件、「1ヵ月以上の事故」2件で、3件とも会員が骨折しています。

【事故①】 病院内の清掃作業を行っていたが、2階から清掃用具を両手に持って階段を下りている際に階段を踏み外し、踊り場まで転落した。看護師が倒れている会員を見つけ救急搬送された。6ヵ月以上入院したが、その後退院した。

【事故②】 もともと左足が悪いため階段の上り下りは特に注意しながら建物の清掃作業を行っていたが、2階から階段で下りている際に、階段の下から2段目で左足を踏み外して転落した。一度、自分の車を運転し自宅まで帰ったが痛みがとれず救急搬送された。入院後1ヵ月経過したが現在も入院中である。

【事故③】 公衆トイレの清掃作業を行っていたが、清掃内容等報告のため町役場に向かう途中、強風により階段上部から転落し、救急搬送され入院したが約2ヵ月後に退院した。

### 2. 事故の原因

【事故①】 階段を下りる際は、片手を空けて手すりに掴まることが基本だが、ついその基本を忘れて両手で清掃道具を持ってしまったこと。

【事故②】 もともと左足が悪く、階段の上り下りは特に注意していたが、階段の下から2段目で左足の方で着地した際に踏み外してしまったこと。

【事故③】 強風の中で無理をして階段を歩行したこと。

### 3. 再発防止策

#### 【センター】

【事故①】 今年度の総会議案書に前年度の事故一覧を掲載し、その中に本件の事故についても掲載することにより全会員に周知し、注意喚起を図った。

【事故②】 毎日の朝礼時、会員に対して安全に対する意識の高揚を図っている。

【事故③】 安全ニュースに「事故報告」として報告し、全会員の注意喚起を図った。

#### 【連合本部】

【事故①】 安全就業パトロール指導員による巡回指導を実施した。

【事故②】 連合傘下の全センターに対して事故報告の情報を提供し、注意喚起を図った。

【事故③】 今年度下半期の重点取組策として、転倒事故防止策を連合傘下の全センターに対して情報を提供し、注意喚起を図った。

### 4. 全シ協から

就業中に階段から転落する事故はとて多く、一向に後を絶ちません。階段での作業や移動に階段を使用する際は、前方や足元が見えなくなるような荷物の持ち方をしないよう気をつけ、後ろ向きでの作業の際は特に気をつけましょう。また、就業中・就業途上に関わらず階段を上り下りする際は、走らずに、手すりをしっかりと持って、足元をよく見ながら、ゆっくりと上り下りするようにしましょう。

# 令和2年10月（令和2年度）事故速報

## (1) 重篤事故

10月は、4件の重篤事故報告がありました。

10月までの累計で比較してみると、令和元年度の14件と比して令和2年度は23件と9件増加しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和元年度の7件と比して17件と10件の増加となっており、就業途上については、令和元年度の7件と比して6件と1件の減少となっています。

### 10月報告分までの累計

令和2年度累計	就業中・就業途上	件数	内 訳				令和元年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	17(4)	8(3)	9(1)	17(4)	0(0)	就業中	7	4	3	6	1	
就業途上	6(0)	5(0)	1(0)	3(0)	3(0)	就業途上	7	3	4	7	0	
計	23(4)	13(3)	10(1)	20(4)	3(0)	計	14	7	7	13	1	

↳ 対前年度比 164.3%

( )は、当月報告分です。

### 10月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
20	男 81歳	就業中 (入院)	病院内の清掃作業を行っていたが、2階から清掃用具を両手に持って階段を下りている際に階段を踏み外し、踊り場まで転落した。看護師が倒れている会員を見つけ救急搬送された。6カ月以上入院したが、その後退院した。	—	—	—
21	男 70歳	就業中 (死亡)	会員2名により藤づるの除去のため2連梯子の上から4段目(約4mの高さ)に足を置いて剪定作業中、2連梯子の重心のバランスが崩れて落下した。リーダーが危険だと告げたが、本人は聞き入れず梯子をかけて作業をしてしまい、リーダーが梯子を下で抑えていたが仰向けで落下した。	×	×	—
22	男 90歳	就業中 (死亡)	個人宅での法面における伐採作業の片付け中に転倒し、法面下(1.5m程度下)の側溝に転落した。頭部に外傷があったため救急搬送された。精密検査受診の際は転倒によるくも膜下出血と診断され約5か月間入院されたが、最終的には肺炎を併発して死亡した。	×	—	—
23	男 84歳	就業中 (死亡)	離島における水道施設の法面(急斜面)で草刈作業を会員1名で行ったが、会員が草刈機を背負って倒れているところを観光客が発見し、救急搬送されたが当日死亡した。死因は頭部打撲及び急性硬膜下血腫。	○	—	—

## (2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

10月は、就業中の事故17件、就業途上の事故6件と、合計23件であり、昨年度同月の30件と比して7件の減少となっています。また、男女別では、男性は5件の減少となっており、女性は2件の減少となっています。

10月までの累計で比較してみると、昨年度の146件と比して、本年度は148件と2件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は112件で6件の増加となっており、就業途上は36件で4件の減少となっています。男女別では、男性は110件で15件の増加となっており、女性は38件で13件の減少となっています。

### 令和2年度10月分

	仕事の内容	事故数 (件)		男性 (件)		女性 (件)		平均年齢(歳)	
		10月	累計	10月	累計	10月	累計	10月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	5(11)	45(41)	5(11)	44(41)	0(0)	1(0)	75	73
	除草作業	4(3)	19(17)	3(2)	15(12)	1(1)	4(5)	78	72
	屋内・屋外清掃作業	5(2)	26(22)	1(2)	12(11)	4(0)	14(11)	75	77
	その他	3(3)	22(26)	3(1)	17(16)	0(2)	5(10)	74	74
	計	17(19)	112(106)	12(16)	88(80)	5(3)	24(26)	75	74
就業途上	徒歩	2(5)	11(10)	1(2)	6(4)	1(3)	5(6)	75	75
	自転車	2(4)	18(22)	2(2)	12(9)	0(2)	6(13)	77	77
	バイク	1(1)	5(6)	0(0)	2(1)	1(1)	3(5)	74	73
	自動車	1(1)	2(2)	1(1)	2(1)	0(0)	0(1)	71	77
	計	6(11)	36(40)	4(5)	22(15)	2(6)	14(25)	75	76
合計		23(30)	148(146)	16(21)	110(95)	7(9)	38(51)	75	74

( )は令和元年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないよう願います。

### (3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

8月は合計10件であり、昨年度同月の8件と比して2件の増加となっています。また、男女別では、男性は3件の増加となっており、女性は1件の減少となっています。

8月までの累計で比較してみると、昨年度の47件と比して、本年度は41件と6件の減少となっています。男女別では、男性は23件で3件の減少となっており、女性は18件で3件の減少となっています。

なお、死亡事故は1件（清掃の業務（中分類コード：76））ありました。

#### 令和2年度8月分

仕事の型（中分類）	中分類コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
		8月	累計	8月	累計	8月	累計	8月	累計
社会福祉の専門的職業	16	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
一般事務の職業	25	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
商品販売の職業	32	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	—	—
家庭生活支援サービスの職業	35	1 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	2 (0)	65	65
介護サービスの商業	36	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	—	70
生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
飲食物調理の職業	39	0 (2)	0 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (8)	—	—
接客・給士の職業	40	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
その他のサービスの職業	42	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	69
農業の職業	46	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	77	76
生産設備制御・監視の職業	51	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
製品製造・加工処理の職業	54	1 (1)	3 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	3 (0)	76	73
自動車運転の職業	66	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	—	78
建設の職業	71	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
運搬の職業	75	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	—	67
清掃の業務	76	1 (3)	7 (7)	0 (1)	3 (4)	1 (2)	4 (3)	63	69
包装の職業	77	1 (0)	1 (2)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	68	68
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	5 (1)	19 (17)	5 (1)	15 (11)	0 (0)	4 (6)	70	72
計	—	10 (8)	41 (47)	7 (4)	23 (26)	3 (4)	18 (21)	70	71

( ) は令和元年度同月の発生件数

※ 通勤災害の事故については、上期分を令和2年12月号、1年間分を令和3年6月号で報告いたします。

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害（休業日数4日以上又は死亡）」、「派遣労働会員の通勤災害（休業日数4日以上又は死亡）」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害（業務・通勤ともに）が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

# ★ 安全リレー ★

## 千葉県における安全就業の取組み

### 1. 千葉県シルバー人材センター連合会の概要（令和元年度実績）

- (1) センター数 47 団体(国庫補助 41 団体、国庫補助対象外 6 団体)
- (2) 会員数 22,909 人(男性 17,140 人、女性 5,769 人)
- (3) 粗入会率 1.1 %
- (4) 就業実人員 20,012 人(請負・委任:19,624 人 派遣:1,770 人)
- (5) 就業率 87.4%(請負・委任:85.7%、派遣:71.6%)
- (6) 就業延人員 2,480,139 人日(請負・委任:2,329,975 人日、派遣:150,164 人日)
- (7) 受注件数 128,053 件(請負・委任:127,301 件、派遣:752 件)
- (8) 契約金額 11,711,915 千円(請負・委任:10,914,370 千円、派遣:797,545 千円)

### 2. 千葉県の令和元年度(前年対比)事故発生状況（請負・委任事業）

※センターからの報告は「シルバー保険適用の有無」を問わず提出。但し、疾病症等は除く。

#### (1) 傷害事故発生件数 (件数)

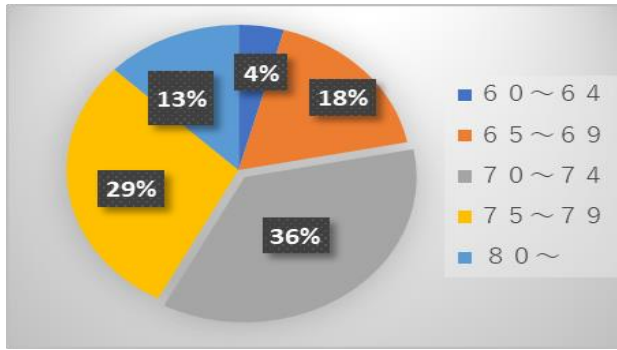
内訳	仕事の内容	発生件数			男			女		
		R01	H30	増減	R01	H30	増減	R01	H30	増減
就業中	植木 樹木の剪定等	33	51	-18	33	50	-17	0	1	-1
	除草作業	34	30	4	24	26	-2	10	4	6
	屋内 屋外清掃作業	31	21	10	18	8	10	13	13	0
	その他	49	54	-5	44	38	6	5	16	-11
	小計	147	156	-9	119	122	-3	28	34	-6
就業途上	徒歩	9	15	-6	3	8	-5	6	7	-1
	自転車	26	29	-3	19	24	-5	7	5	2
	バイク	3	5	-2	2	3	-1	1	2	-1
	自動車	2	2	0	1	2	-1	1	0	1
	小計	40	51	-11	25	37	-12	15	14	1
合計		187	207	-20	144	159	-15	43	48	-5

#### (2) 賠償事故発生件数 (件数)

内訳	仕事の内容	発生件数			男			女		
		R01	H30	増減	R01	H30	増減	R01	H30	増減
就業中	植木 樹木の剪定等	26	27	-1	26	27	-1	0	0	0
	除草作業	70	71	-1	68	68	0	2	3	-1
	屋内 屋外清掃作業	7	8	-1	4	4	0	3	4	-1
	その他	34	28	6	30	23	7	4	5	-1
	小計	137	134	3	128	122	6	9	12	-3
就業途上	徒歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バイク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動車	0	2	-2	0	2	-2	0	0	0
	小計	0	2	-2	0	2	-2	0	0	0
合計		137	136	1	128	124	4	9	12	-3

### (3) 年齢別発生状況

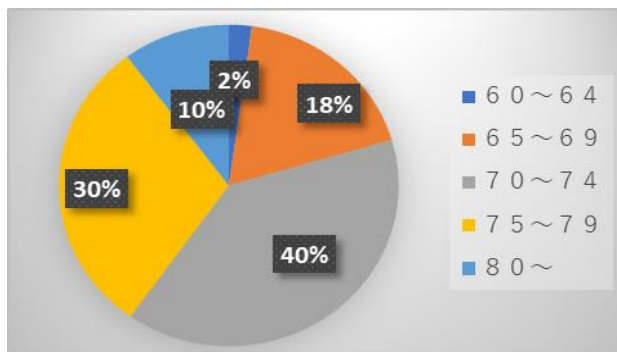
#### ① 傷害事故



(令和元年度)

年齢別	R01	H30
60～64	8	4
65～69	33	45
70～74	67	74
75～79	55	65
80～	24	19
合計	187	207

#### ② 賠償事故



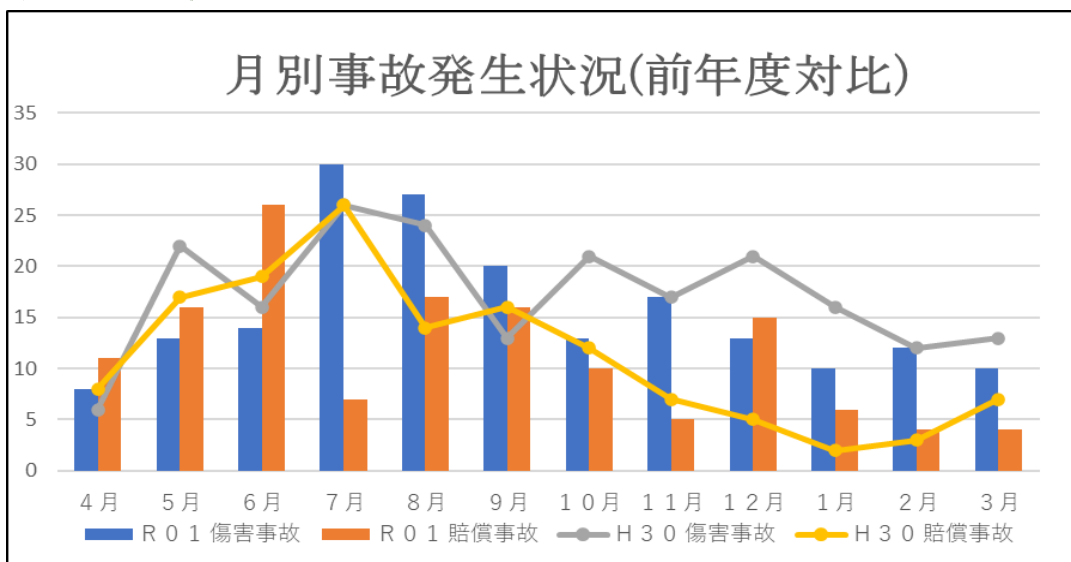
(令和元年度)

年齢別	R01	H30
60～64	3	3
65～69	25	29
70～74	54	52
75～79	41	44
80～	14	8
合計	137	136

#### 【傾向】

傷害・賠償事故とも高齢化に伴い80代の年齢層が増加している。

### (4) 月別発生状況



区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R01	傷害事故	8	13	14	30	27	20	13	17	13	10	12	10	187
	賠償事故	11	16	26	7	17	16	10	5	15	6	4	4	137
H30	傷害事故	6	22	16	26	24	13	21	17	21	16	12	13	207
	賠償事故	8	17	19	26	14	16	12	7	5	2	3	7	136
増減	傷害事故	2	-9	-2	4	3	7	-8	0	-8	-6	0	-3	-20
	賠償事故	3	-1	7	-19	3	0	-2	-2	10	4	1	-3	1



## 【傾向】

- ・夏季期間（6～9月）が植木剪定、除草作業による事故発生が多発している。
- ・令和2年度は事故防止対策強化期間として安全就業推進員研修会等を通じ対策・啓発を行う。

### 3. 千葉県安全就業標語

令和2年度から3年間使用する安全就業標語を県下からの応募(41作品)に基づき連合会「安全・適正就業委員会」で選考し下記作品が受賞されました。

表彰状と記念品の授与は新型コロナウイルスの感染拡大防止の関係から当該センターにて実施しました。

◎最優秀作品 “もう少し” その判断が 事故招く”

公益社団法人

山武市シルバー人材センター

関谷 一徳 (会 員) 写真: 右



○優秀作品 “大丈夫 思う心に 事故の罨”

公益社団法人

野田市シルバー人材センター

関根 秀雄 (役職員)

“思い出せ！ あの日・あの時・あのヒヤリ”

公益社団法人 八千代市シルバー人材センター

桑田 幹夫 (会 員)

### 4. 千葉県シルバー人材センター連合会安全就業の取組み

#### (1) 安全・適正就業委員会

連合会及びセンターの会員の健康と就業（就業先等との往復の途上を含む）の安全に関する事項及び適正就業の確保について検討し、その対策を推進するため連合会安全・適正就業委員会を設置しました。

委員会は、地域グループ毎(6グループ)に委員を選任し、年3回委員会を開催、毎年度の安全・適正就業推進計画、事故発生状況報告、対策等に取り組んでいます。

委員は、理事3名、事務局長3名、安全指導員、千シ連事務局長、安全担当で構成しています。

※以下、令和2年度上半期は、新型コロナウイルスの関係から書面による開催等になりましたので元年度の取組みを報告いたします。

#### (2) 地域グループ毎に連合会から安全就業事故防止対策の巡回及び協議会での安全講和の実施

①毎年、地域グループ内で比較的事故発生の多い1センターを安全就業指導員が選定し、安全就業委員と2名で訪問し、県下の事故発生状況の報告、事故防止対策等の意見交換を実施している。

②地域グループ協議会に連合会から会長・事務局長・安全就業指導員等が出席し、県下事故発生状況の報告、安全講和を行い事故発生防止対策・啓蒙活動を実施している。

③令和元年度の対応

地域G	センター数	①巡回センター		②グループ協議会・安全講和	
		実施日	センター名	実施日	幹事センター
東葛G	6 S C	6/27	柏市 S C	7/5	鎌ヶ谷市 S C
千葉G	6 S C	6/24	船橋市 S C	1/30	八千代市 S C
印旛G	9 S C	7/2	八街市 S C	11/13	栄町 S C
東総G	7 S C	7/9	旭市 S C	※中止	多古町 S C
上総G	1 1 S C	6/25	一宮町 S C	2/18	睦沢町 S C
南房総G	8 S C	7/3	館山市 S C	7/18	館山市 S C

※3/11 計画するも新型コロナウイルスの感染拡大防止の為中止

(3) 安全・適正就業推進員研修会

①開催日 令和元年7月11日(木)

②場 所 千葉商工会議所 第1ホール

③出席者 74名

④講 演

☆「先人から学ぼう～安全推進員の皆様へ～」

講師：千シ連 安全指導員 牧野 春雄 氏

☆「高齢ドライバーへのワンポイントアドバイス」

講師：(JAF)日本自動車連盟千葉支部 事業課交通環境係  
係長 永山 栄司 氏

☆ 熱中症対策について

講師：中央労働災害防止協会 関東安全サービスセンター  
安全管理士・衛生管理士 小原 立太 氏



(高齢ドライバー講習)



(熱中症対策講習)

千葉県シルバー人材センター連合様からの報告でした。  
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。



## ★ コロナ渦でもコミュニケーションを円滑に ★

新型コロナウイルス感染症対策のため、日常的にマスクを着用するようになっています。表情が見えにくかったり、声が聞こえづらかったりして、コミュニケーションがとりにくくなっていませんか？

話し方・聞き方にちょっとした心がけをプラスして、必要なことをしっかり伝い合えるようにしましょう。

## マスク越し、飛沫パーテーション越しに話すとき・聞くとき

職業柄、以前からマスクや呼吸用保護具をつけて働いている人が、話すとき、聞くときに心がけていることをまとめました。

### 話すときの心がけ

- マスクをしていないときより心持ちゆっくり話す
- 意識的に口を大きく開けて、はっきり話す
- 相手の目をよく見る
- 口周りの筋肉が動きにくくなっているため、マスクを外したときに積極的に動かす

### 聞くときの心がけ

- わかっていることを示すためにうなづく
- 聞こえにくいときは、「聞こえにくいので、もう一度お願いします」と丁寧に聞き返す。
- 相手の話を遮らず、最後まで聞く

(出所 中央労働災害防止協会「安全衛生かべしんぶん」より抜粋)

毎年、この時期になると風邪をひいていましたが、いつものような友人との会食もいままでのような不摂生もしていないせいでしょうか、今年は元気です。新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない昨今ですが、今年はみんなが色々な感染予防対策を講じているせいか、インフルエンザの感染者も極端に少ないようです。ワクチンも治療薬も未だ開発されていない新型コロナウイルス感染症。自分だけは大丈夫とは思わず、かかった時には重症化リスクが高い高齢者だという自覚をもって、万全の感染予防対策を取るとともに、コロナ禍における新しい生活様式にも慣れるようにしたいと思います。秋から冬へ向かい、日差しの暖かさを実感するこの季節、会員のみなさまは、常に健康第一で過ごせますように。(松山)

だんだんと肌寒さを感じる季節となってまいりました。コロナ禍の中、今年も季節性インフルエンザの流行シーズンに入りました。インフルエンザはいったん流行すると短期間に多くの人々が感染します。昨年まではインフルエンザの症状が出たら、すぐに医者で診断を受ける必要がありましたが、今年は発熱等の症状のある患者に対して、インフルエンザと新型コロナの感染を鑑別することが困難であるため、早めにインフルエンザのワクチンの予防接種を受けるなど、インフルエンザにかからないよう対策に取り組みましょう。(笹野)

## 安全就業スローガン

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

### <頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

#### 事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 200 円 A4 判  
(税抜・送料実費)

#### 【改訂の内容】

- 1 現行の B5 版 / 16 頁から A4 版 / 20 頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成 27 年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。  
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 FAX 03-5665-8021】